

脳の病氣予防法聞く

市社協豊科支部が研修会

安曇野市社会福祉協議会豊科支部（曾根原健司支部長）は25日、豊科の生きがいデイサービスセンターで、「脳の病氣」をテーマにした研修会を開いた。安曇野赤十字病院・第一脳神経外科部長の宮武正樹さん（54）が講演し、約60人が聴講した。

宮武さんは「脳卒中などの脳の病氣と認知症について」と題して講演した。介護が必要になる原因の病は、脳卒中と認知症が圧倒的に多いと指摘し、予防法や対処法を話した。脳の障害は発症後の時

適切な治療をすることが大切」と呼び掛けた。認知症の進行予防には「楽しいことを積極的にやること」が効果的」とし、絵画や音楽

に親しみ適度な運動を生活に取り入れることを勧めた。

豊科支部は「健康づくり」をテーマに年1回の研修会を開いている。曾根原支部長は「60代後半くらいから、脳の病氣を心配する人が多くなる。適切な対処をしたい」と話していた。

（田子元気）



宮武さんの講演を聴講する参加者